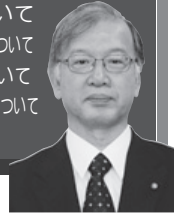


民進党・市民連合

代表 小山 征三 ・ 副代表 西野 茂樹
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

一般質問(西野茂樹議員)

- 1 苫小牧市総合戦略
 - (1) 地元雇用拡大を実現について
 - (2) 出産・子育てしやすさを実感できる支援について
- 2 東胆振圏域地域医療構想について
- 3 空港経営改革について
- 4 交通網の整備について
 - (1) JR北海道の従来線の維持について
- 5 選挙投票率の向上について
- 6 特別職の報酬及び管理職手当について



西野茂樹 議員

3人目の保育料無料化を早期に

苫小牧市総合戦略で検討項目に掲げられている「3人目からの保育料無料化」について、私はむしろ3人目からでなく、2人目からの無料化をこれまでも強く求めてきましたが、この点については、今後の課題との認識を示しました。

3人目の無料化については、29年度での実施の可否を問い、「出来るだけ早く実施の可否を検討する」との見解を示しました。

JR北海道へ強い要望活動を展開

JR北海道が全体の路線見直しの意向を持っていない点について、道民・市民の足を守る観点から、オール苫小牧、オール北海道の問題として、JR北海道、道、国に

対する運動を展開するべきと指摘し、理事者からは、全道市長会をはじめ、各界と連携し、「路線維持のための取り組みを早急に進めたい」との答弁を引き出しました。

一般質問(松尾省勝議員)

- 1 福祉行政
 - (1) 介護人材不足の現状認識と今後の対策について
- 2 安全・安心のまちづくり
 - (1) 市道や通学路への防犯カメラ設置について
- 3 市内全域の草刈り作業について



松尾省勝 議員

急速に進んでいる高齢化社会と2025年問題を見据えるときの課題として、「介護現場への人材確保」が挙げられますが、人材確保対策の難しさを感じながらも、他都市においては、介護に限定をし

た就職相談会や事業所説明会など、人材と現場をマッチングさせる取り組みが進められています。

苫小牧市の現状は特に資格取得などは、民間任せです。この状態が続くことよって、小規模な事

業者ほど人材確保が困難となり、将来的に最大介護需要に対応できない可能性も考えられます。

そのことから「民間事業者の自助努力に委ねることなく、介護保険者としての責務を果たすべき」と指摘しました。

市側は、市独自において「介護資格取得への助成」の予算化をし、人材確保対策の一助につながる施策検討を進めていることを明らかにしました。

小山征三議員の質疑

★ 補正予算では、平成29年2月に市内で開かれるピョンチャン冬



季五輪女子アイスホッケー最終予選の補助金(1千5百万円)について質疑しました。税金を使う以上、大会の要綱や算定根拠を示すべきであると指摘。市側は、日本アイスホッケー連盟が実施要綱を精査中であるなど資料不足を認め、今後、資料の出し方を検討するとなりました。

★ 一般会計決算委員会では、職員の時給と健康管理について

て、27年度は、153人の職員が年間360時間を超えて時間外勤務をしていることを指摘。市長は、健康管理の視点からも過度な時間外労働はチェックし、必要な場合は定数の調整などを図りたいとしました。

岩田 薫議員の質疑

★ 企業会計決算審査特別委員会 ◎ 下水道会計では、26年度から整備した仮設用ポンプが3セットとなり、27年度は29回利用され、約3百万円程度の費用が削減された事が明らかになりました。

大雨対策3カ年事業では、川沿町雨水幹線が3月に完成し、効果が出ていることも報告されました。

◎ 市立病院会計では、地域医療との連携で導入されたIDリンクが、平成27年度脳卒中地域連携パスを新たに導入がされた事が明らかになりました。

さらに、入退院支援センターの利用は、27年度中に総ての診療課で適用され、月平均で3百件を超えている事が明らかになりました。

